

令和10年度から令和14年度までを計画期間とする

「前期実施計画(先行版)(案)」を令和8年8月5日に公表しました！

先行版とは

- ・前期実施計画のうち、学校・学科等の魅力づくりに関することについて先行して整理したものを、先行版として令和8年度に策定します。
- ・学校配置に関することについては、令和9年からの15年間で本県の中学校卒業予定者数が約4,200人減少するという状況を踏まえ、地域等との対話を通じて県民の理解を得ながら検討を進めます。
- ・令和9年度に学校・学科等の魅力づくりと学校配置を一体的に示す「前期実施計画」としてアップデートします。



先行版のポイント

県立高校が、生徒一人ひとりの「行きたい」「学びたい」をつくり、それに応える学びの場となるよう、次の3つについて重点的に取り組みます。

1 単位制と少人数学級編制の拡充

普通教育を主とする学科を有する全ての全日制高校への単位制の導入と、職業教育を主とする専門学科(看護科を除く。)での少人数学級編制(1学級当たり35人)の実施により、県立高校全体で個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。

2 教育DXと遠隔教育の推進

テクノロジーや各種データの効果的な活用等による教育DXと、オンラインによる授業・補習の配信等による遠隔教育を推進し、生徒の多様な学習ニーズに対応した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につなげます。

3 新しい普通科の設置

普通教育を主とする学科において、「デジタル分野に関する学科」、「地域社会に関する学科」、「学際領域に関する学科」を設置し、普通教育を主とする学科の特色化を更に推進します。

学科名(仮称)	設置校	教育活動の例
データサイエンス科 【デジタル分野に関する学科】	青森東高校 弘前中央高校 八戸北高校	●本県の観光客動向と人流動態・交通情報等の地域生活に関するビッグデータを重ねて分析し、オーバーツーリズムを生じさせにくい効果的な観光振興策を検討 ●人口分布・指定避難所一覧等のデータを基に地域の立体ハザードマップを作成し、災害発生時の移動経路や避難所要時間をコンピュータ上で推計・シミュレーションすることで、避難時に想定される副次的災害リスクを可視化し、地域の防災計画を検証
未来デザイン科 【地域社会に関する学科】	鱒ヶ沢高校 野辺地高校 六ヶ所高校 大間高校 三戸高校	●特産物を使用した商品を地元企業と共同で開発し、地元自治体の協力を得ながら、開発した商品を用いて地域をPRする活動を実施 ●地元自治体と同様の課題を抱える県外の自治体を訪問し、課題や改善策について実地調査を行いながら、地域振興について多角的に考察
探究科 【学際領域に関する学科】	令和9年度 「前期実施計画」 において決定	●部活動で取り組んでいる競技における女性の参加に関する課題の分析等を通じて、社会におけるジェンダー平等について考察 ●大学の研究室の助言を受けながら、積雪による被害の低減や豪雪耐性の高い市街地の在り方について実証的に研究

先行版の策定

8月上旬頃～9月中旬頃まで実施した地区懇談会やパブリック・コメント等でいただいた意見を参考に、教育委員会会議で検討し、令和8年10月頃の策定を予定しています。

詳しい取組内容については、ホームページをご確認ください！

【お問い合わせ先】〒030-8540 青森市長島1-1-1 高等学校教育改革推進室 電話：017-734-9866

